

関 係 各 位

一般社団法人鳥取県歯科医師会

会 長 渡 部 隆 夫

(職 員 省 略)

令和4年度 医療介護多職種連携研修会の開催について

(ご 案 内)

晩秋の候 益々ご清祥の御事とお慶び申し上げます。

「高齢者の保健事業と介護予防の一体化」の目的であるフレイル対策について2020年度本研修会にて講師に荒井秀典先生(国立長寿医療研究センター理事長)、平野浩彦先生(東京健康長寿医療センター)、渡邊裕先生(北海道大学)を招聘し研修会を開催しました。そこで、米子市、境港市での取り組みを発表して頂きました。

県内各市町村において、実施の形は整いつつありますが、その中で、医療専門職が、高齢者に対する個別的支援や通いの場等への関与等を行うため、日常生活圏域に保健師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、歯科衛生士等を配置することとなっており、各専門職の具体的プログラムについては模索中であろうと存じます。

今回は、一体化事業での口腔関連の支援内容の具体化に向けて研修会を行います。講師には鳥取県の後期高齢者歯科健診に当初から関わっていただいている、新潟大学小野高裕先生と北海道大学渡邊裕先生を招聘しました。

まず、フレイル、低栄養に関連する口腔機能、その中で最も大きな影響を与える咀嚼について咀嚼研究の第一人者であり日本咀嚼学会副理事長でもある小野先生にご講演頂きます。次いで、鳥取県後期高齢者歯科健診の詳細なデータ分析を行っておられる渡邊先生に鳥取県の後期高齢者の栄養、口腔の問題等現状伺い、フレイル対策への多職種での具体的な対応をご提示いただきます。

本研修会のご案内は、各市町村担当者、地域包括支援センター、保健師、栄養士会、理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会、歯科衛生士会 各位に致しております。

記

【日 程】 令和5年1月8日(日) 10:00～15:00

【会 場】 鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム3(倉吉市駄経寺町212-5)

【開催形式】 会場集合型(オンライン研修会ではありません) 感染対策の上、人数制限を行います。

○講 師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野

教 授 小 野 高 裕 先生

演 題 『改めて考える：いい咀嚼って何だろう？

～地域住民の生涯にわたる健全な咀嚼～』

○講 師 北海道大学大学院歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室

准教授 渡 邊 裕 先生

演 題 『鳥取県後期高齢者の食べる機能の現状と今後の多職種連携フレイル対策』

※受講ご希望の方は、**12月23日(金)までに**同封の回答用FAX用紙にてお知らせください。